

第1回おいしい水懇話会
資料

おいしさ磨^{みが}く 千葉の水

千葉県企業局

第1回おいしい水懇話会

令和3年8月3日(火)

1	安全・おいしい水プロジェクト 2021-2025	- 3 -
	(1) 策定の背景	- 3 -
	(2) キャッチフレーズ	- 5 -
	(3) 趣旨	- 5 -
	(4) 目標	- 6 -
	(5) 施策体系	- 7 -
	(6) 技術的な取組	- 8 -
	① 水質管理	- 8 -
	② 残留塩素低減化	- 9 -
	(7) お客様との取組	- 12 -
	① 水質検査体験	- 12 -
	② おいしい水検定	- 14 -
	③ 水道出前講座	- 14 -
	④ オフィシャルサイト	- 16 -
	⑤ 県水だより	- 18 -
2	千葉県営水道事業中期経営計画	- 20 -

1 安全・おいしい水プロジェクト 2021-2025

(1) 策定の背景

県営水道では、お客様のおいしい水への要望にお応えするため、平成18年度に「おいしい水づくり計画」を策定し、その後、平成28年度から令和2年度を計画期間とする「第2次おいしい水づくり計画」に基づき施策を推進してきました。

計画では、水道水への「信頼感」や「満足感」の向上を目指し、お客様に水道水を安心して飲んでいただくために、国の定める水道水質基準よりも厳しい独自の水質目標を掲げるとともに、「おいしい水づくりの技術的な取組」、「安全でおいしい水キャンペーン」及び「お客様とのコミュニケーション」の3つの柱を設定し、具体的な取組を進めてまいりました。

【1】おいしい水づくりの技術的な取組

安全でおいしい水を供給するために必要な施設整備等

【2】安全でおいしい水キャンペーン

水道水への正しい知識の普及と安全性やおいしさを体験できる機会の提供

【3】お客様とのコミュニケーション

お客様のご意見・ご要望を積極的に取り入れ、お客様と連携・協力した計画の推進

表 1-1 これまでの「おいしい水づくり計画」における水質目標（H18年度～R2年度）

観点	項目	国の定める水質基準等	計画における水質目標	令和2年度 平均値 (達成率)	目標値の目安	
におい 及び味	残留塩素	0.1mg/L 以上 1mg/L 以下	0.1mg/L 以上 0.4mg/L 以下	0.56mg/L	ほとんどの人が 塩素臭を感じない	
	臭気強度 (TON)	3	1 (臭気なし)	1 未満 (100%)	異臭味を感じない (塩素臭以外)	
	かび 臭	2-MIB	10ng/L 以下	1ng/L 以下	1ng/L 未満 (90%)	かび臭を感じない
		ジェオスミン	10ng/L 以下	1ng/L 以下	1ng/L 未満 (100%)	
	有機物 (TOC)	3mg/L 以下	1mg/L 以下	0.6mg/L (100%)	不快な味を感じない	
外観	色度	5 度以下	1 度以下	1 度未満 (100%)	色や濁りが わからない	
	濁度	2 度以下	0.1 度以下	0.1 度未満 (100%)		
安心	総トリハロメタン	0.1mg/L 以下	0.03mg/L 以下	0.022mg/L (89%)	安心して飲める	

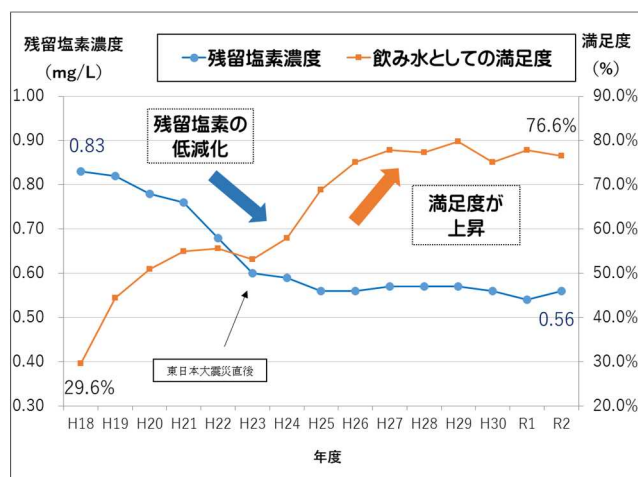


図 1-1 給水区域内の残留塩素濃度と飲み水としての満足度の関係

その結果、残留塩素濃度は計画策定時の 0.83mg/L から令和 2 年度には 0.56mg/L まで低減し、その他の水質目標はほぼ達成に至るとともに、お客様へのアンケートにおいて水道水の「飲み水としての満足度」が 30% から 77% まで向上するなど、大きな成果を上げることができました。

また、お客様の関心、要望、意向等をとらえる目的で県営水道利用者を対象に行ったアンケート調査では、おいしい水づくりの施策について、「より力を入れてほしい」が 43%、「引き続き取り組んでほしい」が 55% と、多くの声が寄せられました。

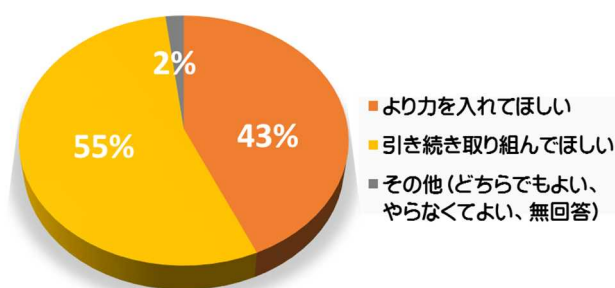


図 1-2 おいしい水づくりの施策に係るアンケート調査

一方で、令和元年度には、新型コロナウイルス感染症が国内でも確認され、その後、感染が拡大しました。

そこで、お客様に安全でおいしい水道水をお届けし、引き続き高いレベルで飲み水としての満足度の評価を得ていくため、計画期間を 5 年間（令和 3 年度～ 7 年度）とする「安全・おいしい水プロジェクト 2021-2025」を策定し、様々な取組を進めることとしました。

(2) キャッチフレーズ

安全・おいしい水プロジェクト 2021-2025 策定にあわせ、新キャッチフレーズを募集したところ、162名から279作品の応募をいただきました。

表 2-1 キャッチフレーズ募集状況

募集作品	キャッチフレーズ（最長15字程度、句読点は字数に含めない）
作品テーマ	「水道水のおいしさ」や「水道水の安全性」についての理解や関心が深められ、お客様に広くアピールできるもの
応募資格	給水区域内に在住、在学、在勤の方
募集期間	令和3年1月29日～2月18日
広報手段	県水だより（1月号に予告）、ホームページ、メールマガジンなど
応募方法	メールまたはハガキ
応募者数	162名
応募作品数	279作品

令和3年3月に開催した「第34回おいしい水づくり推進懇話会」で最優秀賞に選定された「**おいしさ^{みか}磨く千葉の水**」を新キャッチフレーズに決定しました。

(3) プロジェクトの趣旨

本プロジェクトは、県営水道の安全でおいしい水の供給に向けた具体的な施策内容を示すものです。安全でおいしい水道水をお届けし、お客様にこれからも安心して快くお使いいただき、水道水の満足度の向上を図ることを目的としています。水道事業経営に関する基本計画である「千葉県営水道事業中期経営計画」にも反映しています。

目的を達成するため、国の定める水道水質基準等よりも厳しい独自の水質目標とお客様評価による目標を設定し、新型コロナウイルス感染症の拡大といった新たな社会環境の変化なども踏まえつつ、「技術的な取組」を「安全・安心」、「おいしい」の2つの観点から進めるとともに、「お客様との取組」を実施していくものです。



図 3-1 施策の構成

(4) 目標

①水質目標

「安全・安心」と「おいしい」の2つの観点から水質目標を設定しました。

「安全・安心」の観点からは、水道水の基本的な性状を示す項目である「色度」や「濁度」のほか、消毒副生成物の「総トリハロメタン」に加え、「放射性セシウム」についても国の目標値よりも更に厳しい独自の目標値を設定しました。

「おいしい」の観点からは、においに関連する「残留塩素」、「臭気強度 (TON)」、かび臭物質の「2-MIB」、「ジェオスミン」や、味に関連する「有機物 (TOC)」に目標値を設定しました。

このうち残留塩素は、末端における水道水の安全性 (0.1mg/L 以上) を確実に確保しつつ、においを感じないおいしい水道水を目指していくことや、低減化に時間を要することなどから、計画期間5年間では 0.5mg/L 以下を目標に、低減を進めていくこととしました。

表 4-1 水質目標

観点	項目	国の定める水質基準等	水質目標	
安全・安心	色度	5度以下	1度以下	
	濁度	2度以下	0.1度以下	
	総トリハロメタン	0.1mg/L以下	0.03mg/L以下	
	放射性セシウム	10Bq/kg以下	不検出	
	残留塩素		0.1mg/L以上	0.1mg/L以上
		1mg/L以下	0.5mg/L以下	
おいしい	臭気強度(TON)	3以下	1以下	
	かび臭物質	2-MIB	10ng/L以下	1ng/L以下
		ジェオスミン	10ng/L以下	1ng/L以下
	有機物(TOC)	3mg/L以下	1mg/L以下	

②お客様評価による目標

技術的な取組やお客様との取組が着実に進捗していることを確認していくため、お客様評価による目標として、水道水の総合的な評価指標となる「飲み水としての満足度」を設定しました。

表 4-2 お客様評価による目標

観点	項目	目標
お客様	飲み水としての満足度	80%以上

(5) 施策体系

本プロジェクトでは、「安全・安心」、「おいしい」、「お客様」の3つの観点から、「技術的な取組」と「お客様との取組」を推進していきます。

「技術的な取組」では、「安全・安心」の観点から、安全・安心な水をつくり・届け、「おいしい」の観点から、においを感じないおいしい水道水を目指します。

「お客様との取組」では、安全でおいしい水道水を知っていただくとともに、安全でおいしい水づくりにお客様と一緒に取り組んでいきます。

表 5-1 施策体系

観点		施策	取組
技術的な取組	1 安全・安心	(1) 安全・安心な水をつくる	①水源の水質管理
			②浄水の水質管理
			③高度浄水処理の導入
			④浄水処理方法等の調査・検討
			⑤水道水のリスク管理
			⑥新型コロナウイルス対策
	2 おいしい	(2) 安全・安心な水を届ける	⑦蛇口までの水質管理
			⑧管路の更新・整備・維持管理
			⑨貯水槽水道の適正管理の啓発と直結給水の促進
	3 お客様	(3) においを感じないおいしい水道水を目指す	⑩残留塩素の低減化
⑪塩素多点注入方式の導入			
⑫きめ細やかな塩素管理			
お客様との取組	(4) 安全でおいしい水道水を知っていただく	⑬カルキ臭等の調査・研究	
		⑭体験型の取組によるPR	
	(5) お客様と一緒に取り組む	⑮ホームページ・広報紙等によるPR	
		⑯おいしい水懇話会の開催	
		⑰インターネットモニターによるアンケート	

(6) 技術的な取組

① 県営水道の水質管理

県営水道では、国が定めた水道水質基準項目 51 項目だけでなく、独自に設定した項目を対象とした 200 項目を超える水質検査を実施し、安全性を確認しています。

県営水道の水源水質は、利根川及び江戸川の最下流に位置するため、必ずしも良好とは言えない状況であり、水源水質の状況を把握することは安定した水道水質を維持する上で重要なことです。このため、定期的な水源水質調査を実施し、その状況を監視しています。

浄水場では、台風等による河川流量の急増に伴う高濁水の発生や上流湖沼からのかび臭物質の流入等により、原水水質が悪化する場合においても、水質計器による常時監視や水質検査の実施により原水水質を把握し、原水水質に応じた的確な浄水処理を実施しています。

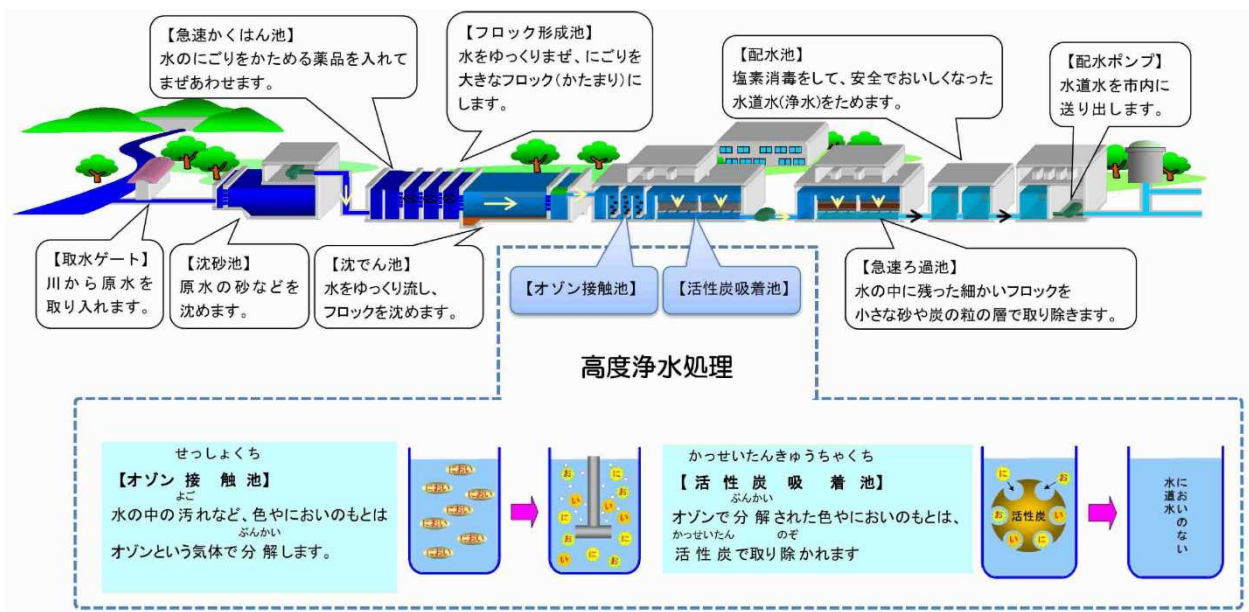


図 6-1-1 浄水処理のイメージ

給水栓（蛇口）の水質を検査する水質センターでは、適正な水質検査体制を維持して
いくため、水道GLPの認定を更新しています。

併せて、配水区域62ブロックに1台ずつ設置した水質自動監視装置により水質の
常時監視を行い、水質管理の向上を図っています。

②残留塩素低減化

水道水は、病原菌などに汚染されず、衛生的かつ安全でなければなりません。そのため水道水は必ず塩素消毒し、蛇口における残留塩素濃度を0.1mg/L以上とすることが水道法令で定められています。

残留塩素濃度は浄・給水場からご家庭に届くまでに徐々に減っていくので、末端の蛇口の安全性を確保するために、浄・給水場で多めに塩素を注入する必要があります。一方で、残留塩素濃度が高いと水道水のおいしさを損なうとも言われています。

そこで本プロジェクトでは、給水栓における残留塩素濃度の計画期間内目標を0.5mg/L以下とし、残留塩素の低減化を進めています。

ア 残留塩素低減化試験

残留塩素の低減化にあたり、安全性を確認した上で浄・給水場で注入する塩素の量を減らしていくため、順次配水区域毎に低減化試験を実施しています。

県営水道では、浄・給水場の残留塩素濃度について、水温別に4段階の管理目標値を設定しています。残留塩素低減化試験は、浄・給水場から配水する水道水の残留塩素濃度を一定期間低減し、その期間中の配水区域末端の残留塩素濃度を測定することで、水道水の安全性が確保されていることを確認する試験です。

イ 塩素多点注入方式

1つの浄・給水場に複数の配水系統がある場合、一括で塩素注入管理を行う方式では、塩素注入量を浄・給水場から最も遠い系統に合わせるため、近い系統の区域では塩素濃度がやや高めになっています。そこで、配水系統毎に分けて塩素を注入する塩素多点注入方式を導入することで、きめ細かく残留塩素を管理できるようになり、近い系統の区域の残留塩素の低減を図ることが可能となります。(図6-2-1)

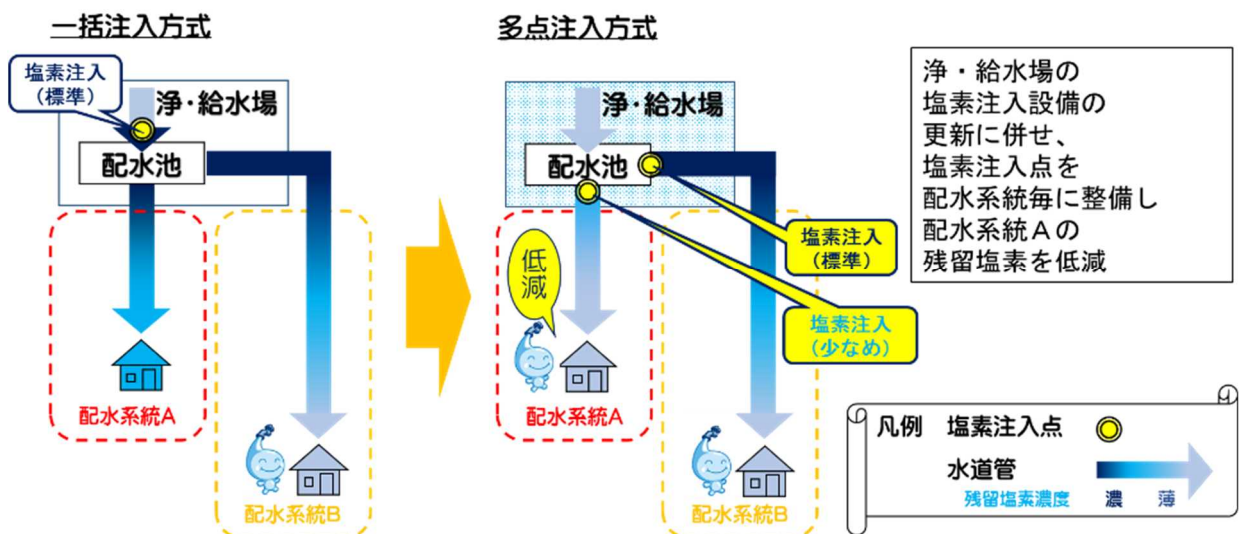


図 6-2-1 塩素多点注入方式のイメージ

ウ 令和2年度の残留塩素低減化試験結果

令和2年度は、令和元年度に塩素多点注入方式を導入した姉崎分場と、姉崎分場から送水を受ける市原分場の配水区域（図6-2-2）を対象に、最夏期及び冬期に残留塩素低減化試験を行いました。

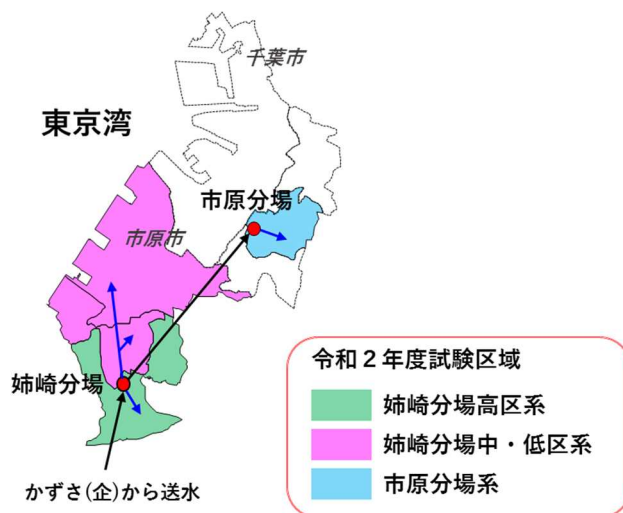


図6-2-2 令和2年度残留塩素低減化試験区域

試験の結果、姉崎分場からより近い高区系では、中・低区系と比べ、0.05～0.10 mg/L 配水残塩管理目標値の低減が可能となりました。試験結果を基に、姉崎分場及び市原分場の配水残留塩素管理目標値を表6-2-1のとおり、令和3年度の春秋期から設定変更しました。

表6-2-1 姉崎分場及び市原分場の配水残留塩素管理目標値

配水系統	時期	水温[°C]	配水残留塩素管理目標値[mg/L] (分場出口)		
			変更前	変更後	増減
姉崎分場 中・低区系	冬期	15未満	0.60	0.60	0
	春秋期	15以上20未満	0.70	0.65	-0.05
	夏期	20以上25未満	0.80	0.70	-0.10
	最夏期	25以上	0.80	0.75	-0.05
姉崎分場 高区系	冬期	15未満	0.60	0.50	-0.10
	春秋期	15以上20未満	0.70	0.60	-0.10
	夏期	20以上25未満	0.80	0.65	-0.15
	最夏期	25以上	0.80	0.70	-0.10
市原分場	冬期	15未満	0.50	0.45	-0.05
	春秋期	15以上20未満	0.60	0.50	-0.10
	夏期	20以上25未満	0.60	0.50	-0.10
	最夏期	25以上	0.70	0.60	-0.10

エ 令和3年度の残留塩素低減化試験

令和3年度は、柏井浄水場及び園生給水場の配水区域（図6-2-3）を対象に、最夏期及び冬期に残留塩素低減化試験を行います。柏井浄水場の配水区域は、水質自動監視装置による平均残留塩素濃度が0.6mg/Lであり、更なる低減化が期待できます。

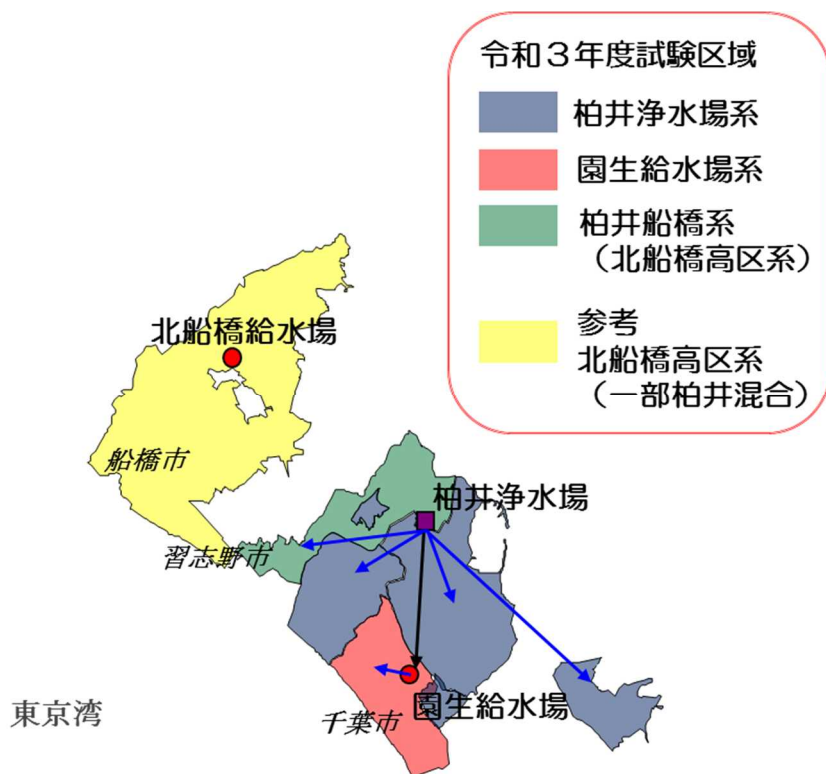


図 6-2-3 令和3年度残留塩素低減化試験区域

(7) お客様との取組

安全でおいしい水道水を知っていただくため、体験型の取組による PR とホームページや広報紙等による PR を行います。

<体験型の PR>

①水質検査体験

水質検査体験は、お客様が御自宅の水道水の水質検査を行い、結果を報告していただくもので、お客様に水道水の安全性やおいしさについて実感いただくことを目的としており、前計画から継続して実施しています。

水質検査体験は、インターネットからお申込みいただいたお客様に簡易水質検査キットをお送りして、検査結果を報告して頂いた方にポタリちゃんグッズをプレゼントしています。

令和3年度の実施状況は、表 7-1-1 のとおりです。

表 7-1-1 令和3年度水質検査体験実施状況

募集人数	約 300 名
募集期間	令和3年5月25日～7月4日
広報手段	県水だより、ホームページ
応募方法	インターネット
応募者数	514 名
対象者数	480 名(県営水道区域外等 34 名選外)
報告期間	令和3年8月1日～8月31日のうち都合のよい時に1回
報告内容	・簡易水質検査結果(残留塩素・pH・全硬度) ・感覚検査結果(水のいろ、にごり、におい、味) ・水道水に関するアンケート(応募時と報告時の2回)
報告方法	インターネット

応募者数の推移について、例年応募者は約 200 名であったのに対し、令和2年度は 334 名、令和3年度は 514 名と大幅に増加しました。要因としては新型コロナウイルス感染症の拡大の影響で、御自宅で県水だよりをご覧になる方が多かったことや、在宅でできる取組への需要が高まったこと等が考えられました。

表 7-1-2 水質検査体験応募者数の推移

実施年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3
応募者数	140 名	227 名	218 名	210 名	334 名	514 名

参加者に回答いただいているアンケート内容は表 7-1-3 のとおりです。このアンケートは、応募時と報告時の2回実施しており、水質検査体験実施前後で水道水に対するイメージが変化しているか調査したところ、安全性について「安心である」と「まあまあ安心である」と回答した方は平成 28 年度以外では実施後に僅かに増加する傾向がみられました（図 7-1-1）。

水道水が塩素で消毒されていることをお客様ご自身で確認することで意識に変化があったのではないかと考えられます。

表 7-1-3 水質検査体験のアンケート内容(令和3年度)

問 1	ふだんの飲み水について
問 2	水道水の飲み方について
問 3	飲み水としての満足度について
問 4	水道水について飲み水として満足と思う理由
問 5	水道水について飲み水として不満に思う理由
問 6	水道水の使い方について
問 7	水道水の飲み水以外の使用における満足度について
問 8	水道水の安全性について
問 9	水道水の安全性に不安がある理由
問 10	水道水に求めるもの
問 11	今までの参加回数
問 12	申込のきっかけ

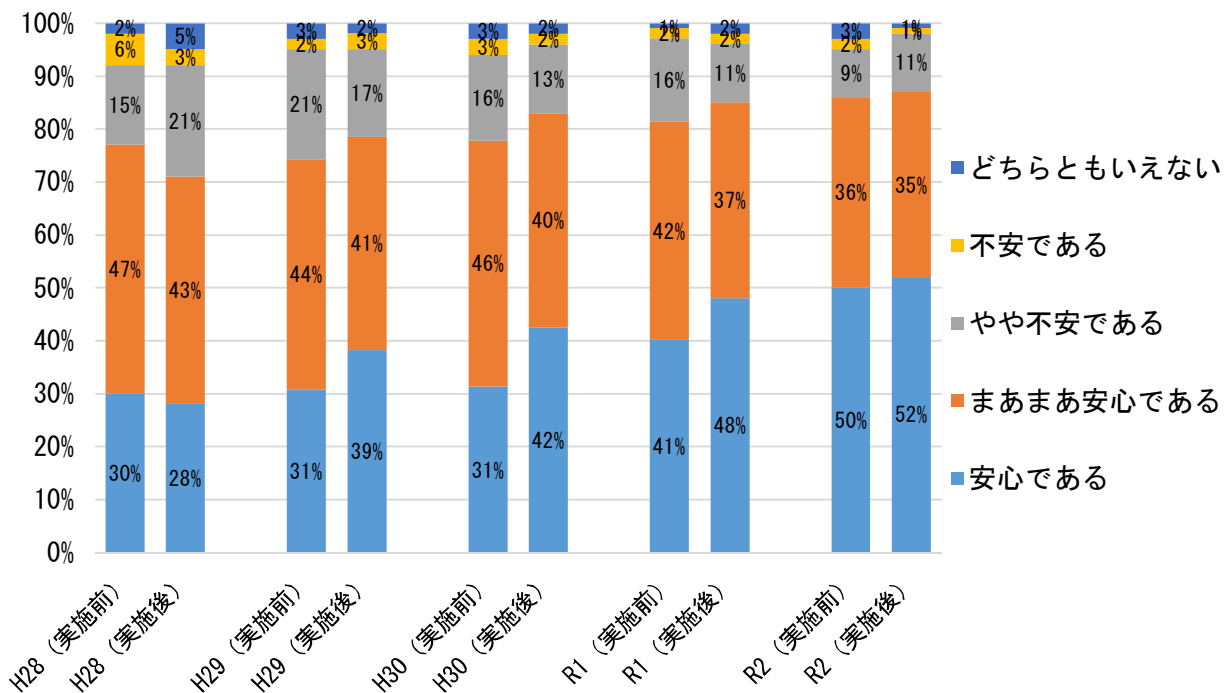


図 7-1-1 水道水の安全性について(実施前後の比較)

②おいしい水検定

「おいしい水検定」は、オフィシャルサイトを通じて、安全でおいしい水道水全般に関する内容や県営水道の取組などについて出題し、お客様に解答いただくことで、水道水の理解を深めていただくことを目的とし、本プロジェクトで新たに開始するものです。

おいしい水検定の概要は図 7-2-1 のとおりで、9 月 1 日発行の県水だよりに募集記事を掲載する予定です。

新企画 「おいしい水検定」を受けてみませんか？

【受験期間】12月15日(水)～1月14日(金)



【対象者】給水区域内にお住まいで千葉県営水道をご利用の方

【出題内容】水道水全般に関すること、
千葉県営水道が取り組んでいる事業などを出題します。

【申込方法】千葉県営水道ホームページから応募してください。

【募集人数】500名程度
(応募者多数の場合、先着順で募集を締め切らせていただきます)

図 7-2-1 おいしい水検定の概要

検定における合格者にはグッズ（オリジナルボトルを検討中）や認定証を贈呈するなど詳細は今後検討していく予定です。

③水道出前講座

水道水についてよく知っていただくため、給水区域内の小学校や自治会などを対象として、安全でおいしい水道水ができるまでの過程などを実験でわかりやすく紹介する「水道出前講座」を実施します。

<基本プログラム>

- 安全でおいしい水はどうやってできるのかな？（紙芝居）
- 安全でおいしい水の作り方を学ぼう（浄水処理実験）
- 水道水の「塩素濃度」の測り方を学ぼう
- おいしい水づくりって？（取組の紹介）
- 水のおいしいクイズにチャレンジしよう

令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、出前講座の受付を4月から8月まで一時中止としていましたが、以下の感染防止対策をお願いした上で9月から再開しています。

- 室内の換気や人と人との距離を十分にとることができる会場の確保
- 発熱等症状のある者の参加のご遠慮
- 手指消毒やマスク着用をお願い



図 7-3-1 水道出前講座の様子

令和3年度出前講座開催状況(6月末時点)は、13回(小学校8校)となっており、参加人数は3ヶ月で686人と、例年と変わらない需要があると考えられます(表7-3-1)。

表 7-3-1 水道出前講座実施状況の推移

年度	小学校	一般	計	参加人数
H29	27回	9回	36回	2,722人
H30	36回	11回	47回	3,744人
R1	30回	7回	37回	2,523人
R2(9~12月)	19回	0回	19回	1,298人
R3(4~6月)	13回	0回	13回	686人

体験型のPRではこの他に、浄水場見学会、まちかど水道コーナーや利き水など、水道に対する理解を深めていただく取組がありますが、現在新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催を見合わせており、今後はホームページ等でのPRを充実させていくことを検討しています。

④オフィシャルサイト

おいしい水づくりオフィシャルサイトは、当局のおいしい水づくりへの取組や水道水に関する情報を発信するため、平成19年度に開設し、随時更新を行っています。計画の策定に合わせ、千葉県営水道バナーのキャッチフレーズをリニューアルしました。
(図7-4-1)

令和3年度は、プレゼント応募企画がある「水のおいしいクイズ」を毎月更新するほか、水質検査体験の募集案内や水道水での手洗いについての豆知識(図7-4-2)等を掲載しました。また、更新時にはメールマガジンやポタリちゃんのTwitterにより更新情報を発信しています。



図7-4-1 オフィシャルサイト(ポタリちゃんの大冒険)

■ その15手洗いに水道水が有効なのは どうして？

新型コロナウイルス感染症の流行により、感染症予防のために水道水で手洗いやうがいをする人が増えたと思います。そもそも、水道水を使った手洗いやうがいはどうして感染症予防の効果があるのでしょうか。

(1) 水道水にウイルスは入らないの？

新型コロナウイルスやインフルエンザウイルスはエンペロープとよばれる膜につつまれたエンペロープウイルスです。一般的にエンペロープウイルスは、消毒剤が効きやすいことが知られています。

水道水は水道法令により、「蛇口から出る水道水の塩素を0.1mg/L以上確保すること」が定められています。千葉県営水道では、法令に従い適切に塩素消毒を実施していますので、安心して水道水をご利用できます。

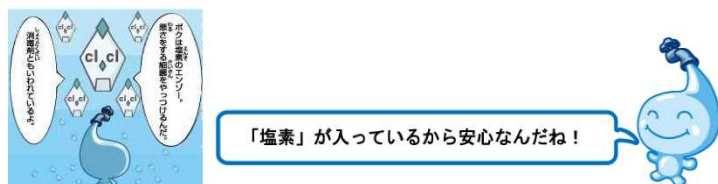


図 7-4-2 水のなるほど豆知識のページ抜粋

オフィシャルサイトの月別アクセス件数は、図 7-4-3 のとおりです。令和 3 年度の4月～6月は令和元～2年度よりもアクセス件数が増加しています。特に6月のアクセス数、中でも「ポタリちゃんの大冒険」ページのアクセス数が大幅に増加しました。

これは、令和元年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、衛生面への関心の高まりから、水道水に関する情報を得ようとする人が増えたことや、浄水場見学会の中止により、水道水の学習のために、ポタリちゃんの大冒険のページを閲覧した人が増えた等の可能性が考えられました。

浄水場見学会等の集客イベントの開催は未だに困難ですが、オフィシャルサイトのアクセス数は増加していることから、ホームページをはじめ様々な媒体を活用し、おいしい水づくりの取組のPRを行っていきます。

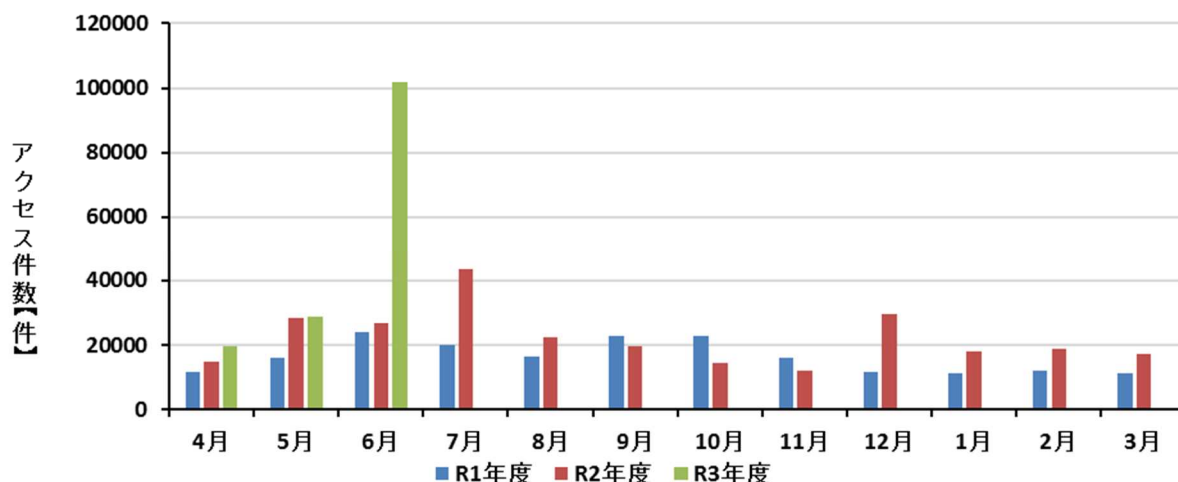


図 7-4-3 おいしい水づくりオフィシャルサイトアクセス件数

⑤ 県水だより

県営水道では年に4回、県水だよりを発行しており、5月号にPRとして「水道出前講座」、「水質検査体験」について掲載しました（図7-5-1）。

先述のとおり、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、御自宅で県水だよりをご覧になる方が多かったと思われ、水質検査体験については想定を上回るお申込みをいただきました。水質検査体験参加者に選定した方の96%が県水だよりをきっかけに申し込みをされたと回答していることから、県水だよりはPRの媒体としてとても有効なツールであると言えます。

県水だよりには、3月に新プロジェクトを策定したことから、4月号にプロジェクトの紹介記事や新しいキャッチフレーズについても掲載しており（図7-5-2）、9月号ではおいしい水検定の記事を掲載予定です。今後も安全でおいしい水についてのPRに努めていきます。

水道出前講座

を希望する学校・団体を募集します

開催は無料です!

安全でおいしい水道水のことを楽しく学んでいただく出前講座を行っています。
新型コロナウイルス感染症の状況等により、講座の開催を中止とすることがございます。

【講座内容】 安全でおいしい水の紙芝居・浄水処理実験・クイズ等 **90分程度**

【実施期間】 1年を通じてお客様の希望される日時にあわせて実施しています。

【対象者】 給水区域内の小学校（主に4年生向け）または一般の団体（自治会など）


【申込方法】 はがき又はFAXで、
①団体名 ②申込代表者氏名 ③連絡先 ④参加人数 ⑤開催希望日時(第3希望まで)
⑥実施予定会場をご記入の上、下記あてに申し込みください。
(開催日は、調整させていただく場合があります。)

事前確認事項

- ・室内の換気ができ、人と人の距離を十分にとることができる会場の確保をお願いします。
- ・参加される方は手指消毒やマスクの着用などの感染症防止対策をお願いします。
- ・発熱等症状のある方は参加をご遠慮くださいますようお願いいたします。

申込・問い合わせ先

T262-8512(郵便番号記入により住所省略可)
千葉県企業局水道部計画課おいしい水づくり推進班
TEL 043-211-8632 FAX 043-274-9804



千葉県営水道 出前講座 🔍 で検索

＊おうちで「水質検査体験」やってみませんか? (無料)

ご自宅の水道水の水質を検査してみませんか?参加して下さる方に「簡易水質検査キット」をお送りします!検査結果を報告して下さった方には「ポタリちゃんグッズ」をプレゼント!気軽にご応募ください!

【対象者】 給水区域内にお住まいで県営水道をご利用の方
(戸建て、集合住宅を問いません)

【募集人数】 300名程度(応募者多数の場合、ご希望にそえないことがあります)


【調査期間】 8月1日(日)～8月31日(火)の内1回


【検査項目】 「残留塩素濃度」、「pH値」、「硬度」など

【申込方法】 千葉県営水道ホームページから応募してください。

【申込締切】 7月4日(日)

【問合せ先】 千葉県企業局水道部計画課おいしい水づくり推進班
TEL 043-211-8632





千葉県営水道 水質検査体験 🔍 で検索

図7-5-1 県水だより 5月号掲載記事

お客様のおいしい水への要望にお応えするため、「安全・おいしい水プロジェクト2021-2025」を策定しました。

安全・おいしい水 プロジェクト 2021-2025

【目的】

安全でおいしい水道水をお届けし、お客様に安心して快くお使いいただき、水道水の満足度の向上を図ります。

取組内容

技術的な 取組



○水源から蛇口までの水質管理

水源の水質に応じて的確に浄水処理を実施します。また、お届けする水道水については国が定めた水質基準の51項目よりも多い200項目以上の水質検査を実施します。さらに、配水区域内に設置した62台の水質自動監視装置により、水質の常時監視を行います。

○残留塩素の低減化

水道水は、安全性を確保するため塩素による消毒が義務付けられていますが、水道水中の塩素濃度が高いと、おいしさを損なうとも言われています。そこで、お客様が塩素のにおいを感じずにおいしく水道水を飲むよう、安全性を確保しながら残留塩素の低減化を推進します。



水質検査 **200** 項目以上

お客様との 取組



○水道出前講座

小学校や自治会を対象として、安全でおいしい水道水ができるまでの過程を実験などで体験できる「水道出前講座」を実施します。

※新型コロナウイルス感染症の状況により、開催を中止する場合があります。

○水質検査体験

お客様自身が簡易水質検査キットによりご自宅の水道水の水質検査を行う「水質検査体験」を実施します。

○おいしい水懇話会

お客様や学識経験者によって構成される「おいしい水懇話会」を開催します。おいしい水懇話会のご意見やご要望を踏まえ、お客様と連携しながらプロジェクトを推進します。

○オフィシャルサイト

安全でおいしい水への取組などを伝えるため、随時情報を発信します。今後、水のおいしいクイズの掲載に加え、水道出前講座の動画などについても掲載していく予定です。



【安全・おいしい水プロジェクト 2021-2025】

のキャッチフレーズが決定しました!
～おいしさ磨く
千葉の水～

千葉県営水道では、平成18年度に「おいしい水づくり計画」を策定し、「おいしくなります!ちばの水」、平成28年度からは「おいしくなったよ!千葉の水」をキャッチフレーズに、安全でおいしい水づくりに取り組んできました。

高度浄水処理の導入や残留塩素の低減化などの技術的な取組のほか、水道出前講座や水質検査体験などの水道水を知っていたための取組を進め、平成18年度には約3割であった「水道水の飲み水としての満足度」は現在では約8割まで向上してきたところです。

令和3年度からは「おいしさ磨く 千葉の水」をキャッチフレーズに、皆様のもとに安全でおいしい水道水をお届けしてまいります。

応募のあった
297 作品の
中から
決定しました。



図 7-5-2 県水だより 4月号掲載
安全・おいしい水プロジェクト 2021-2025 の紹介

2 千葉県営水道事業中期経営計画

(1) 計画の趣旨及び性格

本計画は、千葉県営水道事業の経営に関する基本計画であり、水道事業を運営する上での実施計画ともなるものです。

(2) 計画期間

令和3年度～7年度（5年間）

※前計画 平成28年度～令和2年度

(3) 「基本理念」－目指す方向性－

成熟型社会にふさわしい持続可能なライフラインとしての使命を果たし、お客様の豊かな暮らしと活力を支えるとともに、より安全でおいしい水づくりを推進していくため、計画全体の幹となる基本理念を次のとおりとしました。

いつでも、安全でおいしい水を安定して供給し、
お客様が安心し、信頼を寄せる水道

(4) 「基本目標」－目指す姿－

基本理念の実現に向けて、県営水道の目指す姿を基本目標として次のとおりとしました。

I 「強靱」な水道の構築

激甚化・多様化する災害に備え、水道施設の計画的な更新・災害対策と危機管理体制の強化を進める

II 「安全」な水の供給

水源水質に対応した的確な浄水処理により、安全でおいしい水をお届けする

III お客様からの「信頼」の確保

お客様の理解のもと、地球環境にも配慮し、将来を見据えた健全な事業運営を行う

(5) 計画の体系

この実施計画は、計画の実効性を高めるため、3つの「基本目標」の達成に向けて8つの「主要施策」と21の「主な取組」を体系化しました。

基本目標	主要施策	主な取組
Ⅰ「強靱」な水道の構築	(1) 安定給水の確保	①浄・給水場等の更新・整備
		②管路の更新・整備
	(2) 災害に強い施設整備の推進	①浄・給水場等の耐震化の推進
		②管路の耐震化の推進
		③停電・浸水対策等の強化
	(3) 危機管理体制の充実	①緊急時に備えた体制の充実
②給水区域内11市等関係機関との連携強化		
Ⅱ「安全」な水の供給	(4) 安全で安心な水づくり	①水源の監視・保全
		②高度浄水処理の導入
		③水質管理の徹底
	(5) おいしい水の供給	①おいしい水の技術的な取組
②おいしい水のお客様との取組		
Ⅲお客様からの「信頼」の確保	(6) お客様サービスの向上	①支払方法の多様化や手続き等のオンライン化
		②「お客様の声」を活かした事業運営
	(7) 大規模事業者の責務と社会貢献	①県内水道の統合・広域連携
		②環境負荷の低減に向けた取組
		③国際貢献及び他事業者への技術支援
	(8) 運営基盤の強化	①職員の育成・確保及び能力開発
		②ICT（情報通信技術）や民間活力の活用による業務の効率化
		③システムの安定運用及びセキュリティ対策の強化
	④健全経営の推進	

(6) 計画の概要

別紙のとおり